

ひまわり

No.6

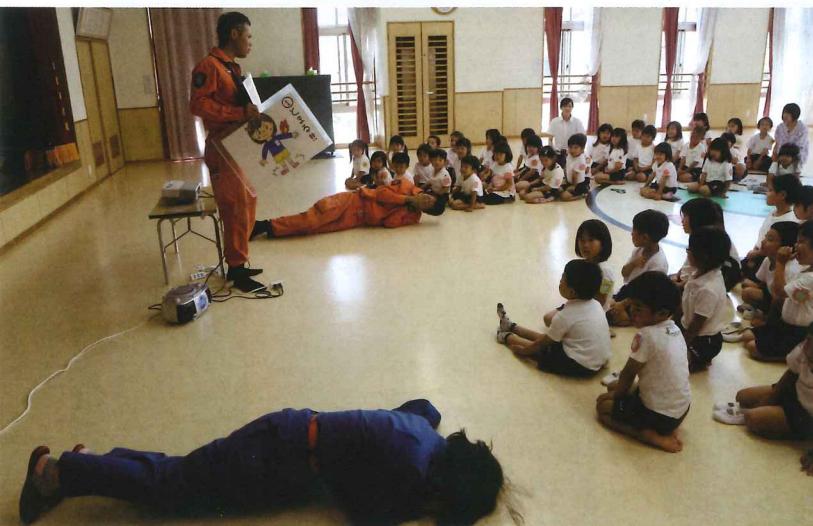
2019年1月発行

●編集発行●

菊川市消防団本部

菊川市東横地 385

Tel.0537-35-0119



平成30年全国統一防火標語

忘れてない？サイフにスマホに火の確認

菊川市消防団は、火災予防啓発活動に取り組んでいます。その取り組みの一つとして、女性消防隊は6～7月に開催される花火教室で市内の幼稚園・保育園の子どもたちに向けて、安全で正しい花火の遊び方を実際に手持ち花火をしながら説明しました。

また、火災発生時や衣服に火が燃え移った場合などに備えた対処方法も実演を交えて教えました。本年度は、市内14の幼稚園・保育園を消防署職員と共に訪問しました。

この花火教室の他にも、高齢者のお宅の防火診断や、街頭広報・車両広報等で防火を呼びかけるなど、火災のない安全な街づくりのお手伝いをしています。

☆正しい花火の遊び方☆

「火元から一番遠い先端を持つ」「友だちに火を向けない」「覗かない」「大人の人と一緒に使う」

☆火災時の対処方法☆

「煙の中ではこうやって移動する」「煙を吸わないよう口と鼻を覆う」「衣服に火がついた場合は走り回らず地面に転がって火を消す」



©菊川市

女性消防隊<ひまわり>はこんな活動をしています

通年

応急手当普及活動

万が一の事故や、急な病気などで倒れた方に対し救急車が到着するまでの数分間に行う応急手当が、その患者さんの生死を左右する場合があります。

私たち女性消防隊の活動の中で最も力を入れているのが、この応急手当の普及活動です。8名中7名が『応急手当普及員』の資格を持ち、そのうち3名は普及員より上位の『応急手当指導員』の資格を習得し、広く市民の皆さんに普及させられるよう頑張っています。

毎月第3土曜日には、消防署内の救急指導室において、普通救命講習が開催され、私達も指導のお手伝いをしていますので、ぜひ参加してみて下さい。



毎年、7～8月に男性団員に応急手当の指導をしています。



12月2日の地域防災訓練時に三軒家自治会へ出向き、心肺蘇生法やAED・三角巾の使用方法を指導しました。



2月

女性消防団員研修及び連絡協議会



静岡県女性消防団員連絡協議会が設立され、研修会と設立総会に参加し他市の女性団員と活動について情報交換をしました。

10月

防火診断



11月

全国女性消防団員活性化大会

滋賀県で開催された女性消防団員の全国大会へ参加し、他県の活動を学びました。



11月

火災予防街頭広報



幼年防災クラブの園児と一緒に、市民の皆さんに防火を呼びかけました。



【その他の活動】

- ・水防訓練
- ・花火教室
- ・火災予防車両広報
- ・査閲大会
- ・地域防災訓練
- ・消防団広報誌作成

火災シーズンの前に1人暮らしの高齢者のお宅を訪問し、防火指導を行っています。

© 菊川市



<ひまわり>の一員として、一緒に活動しませんか？

女性消防団員募集中!!

Join HIMAWARI!

今年度新たに1名の女性団員が入団しました。

新入団員 清水アマンダみゆき

ひまわりは平成22年に発足し、現在8名で活動しています。

地域イベント

EVENT

消防団員は「自らの地域は自ら守る」の精神の基、地域の活動やイベントにも積極的に参加し、地域の皆さんとの交流を深めています。地区の運動会や地区センター祭りでは、玉入れや長縄跳び、リレーなどに参加し子どもたちと一緒に楽しみました。

また、12月から1月に実施している夜間特別警戒（夜警）では、小学生と一緒に市内を巡回するなど、安心安全な街づくりのために日々活動をしています。

※イベントに関する依頼やお問い合わせは、管轄の消防団までお気軽にお声掛けください。



平成30年度 夏休みわくわく消防体験プログラム

毎年8月に行われている、夏休みわくわく消防体験プログラムでは、消防署と消防団が合同で、幼い頃から防火・防災への関心をもってもらうため、ケガの応急手当や心肺蘇生法、消防車への乗車体験、放水体験、火災時の煙体験などの様々なプログラムを実施しています。



◆菊川市消防団査閲大会

安全・確実・迅速に活動を行うために日頃から訓練に励んでいます。その訓練の成果を競う「消防団査閲大会」が、今年度も菊川市消防防災ヘリポートにて6月に開催されました。今年は操法の披露だけでなく、昼の休憩時には救助資機材を用いての、団員による大規模災害を想定した救助訓練が行われるなど、迫力のある大会となりました。

また、9月には2年に1度、掛川市・御前崎市と合同で行われる「小笠支部連合演習」が開催され、小笠北分団が小型ポンプ操法の部で「優勝」という素晴らしい成績を収めました。

平成30年度の成績

【総合順位】

	訓練礼式の部	ポンプ車操法の部
優 勝	小笠南分団	小笠東分団
準優勝	小笠北分団	小笠北分団2
第3位	小笠東分団	横地分団
	小型ポンプ操法の部	
優 勝	小笠北分団2	
準優勝	小笠南分団	
第3位	小笠北分団1	

【個人賞】

訓練礼式

指揮者 小笠北分団 横松俊也

ポンプ車操法

指揮者 堀之内分団 佐藤雄哉
1番員 小笠南分団 向井勇一
2番員 小笠北分団2 浦野淳平
3番員 小笠東分団 山本一匡
4番員 小笠北分団2 戸塚愛斗

小型ポンプ操法

指揮者 小笠南分団 長尾知哉
指揮者 小笠北分団1 縣透友
1番員 小笠北分団2 横松聖人
2番員 小笠北分団2 牧野峻明
3番員 小笠南分団 鶴木開



水防訓練

集中豪雨や台風などが発生する時期に備えて、関係機関や自主防災会（自治会）の皆さんも参加し、毎年水防訓練を行っています。訓練では、市・消防団・消防署による各種水防工法の実演のほか、地域の皆さんと連携・協力し訓練を行い、風水害に対応するため知識や技術を習得しています。



茶こちゃん
メールの登録を
しましょう！

災害時の情報を正確に入手するためのツールとして、皆さんの携帯電話に直接情報を届ける「茶こちゃんメール」があります。例えば、避難情報が発令された場合に、同報無線が大雨で聞こえないことや放送された内容を忘れてしまった場合でもメールなら文字で確認することができます。

登録方法は右記 QR コードを読み取るか、
chako-entry@tokyoanpi.sbs-infosys.comへ空メールを送信してください

◆利用上の注意事項◆

- ・本サービスへの登録は、利用規約に従うことにあらかじめ同意していただく必要があります。
- ・登録は無料ですが、利用登録、変更、解除の際の通信、メールの送受信にかかるパケット通信料や通信費については利用者の負担となります。



家庭ができる台風・大雨対策

■ 台風が近付く前に

- ・鉢植え・物干しざおなど ⇒ 室内へ移す、寝かせる。(飛散防止)
- ・飛来物の飛び込みに備えて ⇒ 雨戸を閉める。カーテンを閉めブラインドを下ろす。
- ・側溝・雨どい ⇒ 落ち葉などを取り除き排水をよくする。
- ・浸水の危険がある場合
 - ⇒ 家財（重要書類・高価な家電製品・数日分の衣類）は高い場所へ移動する。
 - ⇒ 土のうの準備



豆知識 土のうがなくても！身近なものを使って家への浸水を防ぐことができます(^^)v

★ゴミ袋による簡易水のう



ダンボールに入れて
←強度アップ！
(ゴミ袋を二重にし、水を袋の半分程度入れる。)



☆ポリタンクやプランターでも

※小規模な水災で水深の浅い初期の段階に行う水防工法です。

■ 備蓄のススメ ~電気・水道・ガス・などライフラインの停止に備えましょう~

Q. 何をどう備蓄すればいい？ A. 長期的に置いておくものと普段から使うもので分けると便利です。

長期的に置いておくもの

- ・懐中電灯、LEDランタン等
- ・携帯ラジオ
- ・携帯電話・スマホの予備バッテリー
- ・調理器具（カセットコンロ等）
- ・簡易トイレ
- ・給水袋、ポリタンク など

普段から使ったり食べたりするもの

- ・食料品（缶詰、レトルト、カップラーメン等）
- ・薬／救急用品
- ・日用品（乾電池・ライター等）
- ・衛生状態を保つもの（ウェットティッシュ等）

※家族の状況（赤ちゃん、高齢者、ペット）にあわせて用意しましょう。



Q. 備蓄ってどれくらい必要？ A. ひとり7日分×家族の人数分が必要です。

豆知識 食べながら備える『ローリングストック法』

食材をこし多めに買っておき、食べたらその分を買い足すことで、常に一定量の食材を備蓄する方法です。

新人団員紹介

堀之内分団

栗田 純



消防活動を通じて、災害時の対応はもちろんのこと、自分を守る応急手当も学ぶことができました。地域の輪も広がり、良い経験をさせていただいています。

加茂分団

清水 雅斗



消防団に入団して半年以上が経ちましたが、今まで話した事がない先輩などと繋がりができ、とても良かったと思います。

内田分団

玉山 大樹



入団してから訓練など大変なこともありました。頼りになる先輩たちと一緒に頑張ります。

小笠北分団

樽松 聖人



消防団に入団して訓練についてけるか不安でしたが、先輩方が優しく熱心に教えてくれたので大丈夫でした。

河城分団

高木 清志



今年度は災害が全国的に多かったので、身近に起こった時のために、防災活動にしっかりと取り組みたいと思います。

六郷第一分団

桑野 駿平



消防団活動を通して、地域貢献したいと考えています。また、様々な経験ができるのを楽しみにしています。



六郷第二分団

武藤 瑞紀



消防団活動を通じて、地域の方々や諸先輩方と交流するようになり、人脈が広がりました。これからも地域のために頑張っていきたいと思います。

横地分団

黒田 裕太



消防団に入団して、地域の方々や先輩方と交流するようになり、地域の繋がりの大切さを感じました。今後も消防団活動を頑張っていきます。

小笠南分団

松永 竜弥



消防団に入団し、当初は分からないことばかりで不安もありましたが、先輩方が一つ一つ丁寧に教えてくださり、たくさんのこと学ばせて頂いています。

小笠東分団

杉山 将太



消防団に入団したこと、それまで接する機会がなかった先輩方や地域の方々と交流を深めることができました。

私の家族は消防団



内田分団 石田洋輔



いつも
訓練お疲れさま。
早朝や夜遅くまで大変ですが、
体調には気をつけて頑張って。
(琴美・涅・暖・岬より)

小笠東分団 名波克明



仕事と消防の両立は
大変だけど、活動服に着替えて
訓練に向かう姿はとても格好いいです。
これからも体に気をつけて
頑張ってください。
(真未・遙翔より)



地域防災力確保に向けて

近年、全国的に消防団員数は減少傾向にあり、菊川市でも消防団員の約9割が被雇用者（サラリーマン）であることから、地域防災力の低下が心配される状況となっています。そのため市では、勤務時間中の消防団活動への協力や従業員への入団促進など、消防団活動に協力していただける事業所へ表示証を交付する「消防団協力事業所表示制度」や、地域防災のために活動する消防団員や家族などを対象に、割引等のサービスを提供していただく「消防団応援の店制度」を設け、新たな協力体制を構築し、団員の確保と活動環境の整備に努めています。

消防団応援の店

※サービス内容は各店舗・事業所ごとに設定されています

- スナック 花紋
- ヘア・ショップ ミユキ
- 魚和商店
- 株式会社 静岡ツーリスト
- 城河屋
- 株式会社 服部モータース商会
- 小さな居酒屋 みよし
- 居酒屋 三男坊
- 平野クリーニング
- 株式会社 静岡旅の企画室
- 遠州夢咲農業協同組合 菊川茶直売所
- 遠州夢咲農業協同組合 小笠茶店舗
- 手もみ処 まる



- 株式会社 オートサービス服部
- 株式会社 内山石油
- 夢の途上
- 美容室 ミント・ハウス
- 株式会社 たご満 遠州茶家
- フラワーショップ 花慶
- 有限会社 ふとんのクボタ
- 居酒屋 いろは
- ピクトリースイミングスクール
- 株式会社 河原崎商事菊川
- 遠州夢咲農業協同組合 菊川茶直売所
- レストラン コスマス (COSMOS)
- 有限会社 オガサ自動車
- 有限会社 スタジオワン福田
- 畠Bar うちっち
- 有限会社 カメラのかじスタジオ
- 松久靴店
- SHANSHAN
- laut(ラウ)
- 魚恭
- クレール
- 魚大
- 富貴揚(ふきあげ)
- 小菊莊
- 鈴木モータース
- ヘーサロンおおいし
- 有限会社 萩興商
- 理容 後藤

市内の協力事業所



- | | |
|----------------|------------------|
| ・遠州夢咲農業協同組合 | ・日東工業株式会社菊川工場 |
| ・株式会社ミクニ菊川事業所 | ・株式会社近藤建設 |
| ・和興産業株式会社 | ・株式会社小松防研監理事務所 |
| ・株式会社産栄工業 | ・株式会社マリイチ静岡工場 |
| ・株式会社浜崎商店 | ・スター精密株式会社 菊川工場 |
| ・株式会社小原組 | ・株式会社生駒化学工業 東海工場 |
| ・株式会社サンペイント OS | ・フガク工業株式会社 |
| ・小笠運送株式会社 | ・株式会社中遠熱処理技研 |
| ・株式会社沖開発 | ・社会福祉法人 草笛の会 |



消防団員募集!!

今、消防団はあなたの力を
必要としています!!

●応募資格：菊川市内に居住または勤務する
18歳以上の方

●身分：非常勤特別職の地方公務員（消防団員）
遇：①条例に基づき年報酬手当が支給されます②活動に必要な被服（制服、活動服など）などを貸与します③公務災害補償退職保証金5年以上表彰制度があります④所属は管轄の地域の分団。等

●主な活動内容：①災害出動、②火災予防啓発（夜間警戒等）、③地域防災訓練への参加指導（管轄地域の自主防災会と協力）、④災害出動に伴う訓練

詳しい内容については消防団事務局または居住地域の消防団員等へお問い合わせください

●消防団事務局：菊川市消防本部消防総務課総務係
TEL.0537-35-3282(直通)

この広報誌は火災や水害の予防啓発を目的として、女性消防団員が編集を行いました。菊川市消防団の活動を市民の皆さんに広くお伝えするとともに予防啓発につながれば幸いです。今後も皆さんの期待に応えられるよう頑張りますので、応援をお願いします。